

# かわにし夢・未来フォーラム

～ ひとつつながるしくみづくり ～

平成 24 年 10 月から平成 25 年 2 月にかけて開催された 42 回（14 地区各 3 回）の地域夢・未来カフェのさまざまな成果と今後の地域分権制度の方向性を共有するため、『かわにし夢・未来フォーラム』を開催しました。

カフェにも参加した二岡美樹子さんが司会を務め、代表地域から活動案の発表がありました。トークセッションでは各地域のカフェに参加した 20 代～70 代の市民 18 名に出演していただきました。

日 時：2013 年 3 月 24 日（日） 13:00～16:00

会 場：川西市文化会館大ホール

参加者：地域夢・未来カフェ参加者など約 200 人

## ■当日のプログラム

- 開 会
- 市長あいさつ
- 報告：地域分権制度創設に向けた取組について
- 報告：地域夢・未来カフェの様子
- 発表：代表地域からの活動案紹介
  - ①清和台・清和台南小地域 ②牧の台小地域
- ～休 憩～
- トークセッション
  - 『ひとつつながる私のアイデア』
- 市長からひとこと
- 閉 会



## ■市長あいさつ

大塩民生川西市市長から、開会にあたりあいさつがありました。今後地域分権制度のしくみづくりを進めていくということ、そのためには、地域と NPO、ボランティア、事業者などがさらに連携し、地域力を高めていくことが求められるという話がありました。



## ■報告：地域分権制度創設に向けた取組について



地域分権制度創設に向けた取組について、川西市総合政策部の本荘重弘部長から報告がありました。

川西市が地域分権制度を取り入れる必要性やこれまで取り組んできた内容、地域夢・未来カフェの開催概要や目的、活動案を考えていただいた理由、実施した結果、400 項目以上の素材が集まったことなどについて報告がありました。

また最後に、平成 25 年度から地域担当職員を配置することや「(仮)地域分権推進基本方針」を策定することなど、地域分権制度導入スケジュールの説明がありました。

## ■報告:地域夢・未来カフェの様子

42回開催された地域夢・未来カフェについて、studio-L代表の山崎さんとカフェで司会をされた醍醐さんとともに振り返りがありました。まずは実際のカフェの様子をムービーで共有しました。さらに、活動案のテーマとして、「多世代交流やコミュニティカフェに関すること」「地域活動や自治会活動に関すること」「子育て支援に関すること」が特に多かったこと、そして、それぞれのテーマで出ていた主な課題についても共有しあい、最後に山崎さんから講評していただきました。

### 第1位:多世代交流やコミュニティカフェに関すること(13案)

<カフェで出ていた主な課題>

- ・地域で集まれる場がない
- ・いつでも交流できるカフェが必要!
- ・地域に関わる入口がわからない
- ・若者も参加したくなる地域イベントにする

### 第2位:地域活動や自治会活動に関すること(8案)

<カフェで出ていた主な課題>

- ・自治会加入率が低下している
- ・役員が高齢化・固定化している
- ・自治会入会のメリットは何だろう?
- ・マンション住民にどうアプローチすればいいか?
- ・若い世代に参加してほしい!

### 第3位:子育て支援に関すること(6案)

<カフェで出ていた主な課題>

- ・地域と学校の関わりが少ない
- ・地域の人材を子育て支援に生かしてほしい!
- ・子育て中のママが集える場が必要
- ・自然を生かした遊び場が必要



## ■発表:代表地域からの活動案紹介1『地域×ガーデンモール清和台プロジェクト』



清和台・清和台南小地域の小川さんから、地域とガーデンモール清和台がコラボした企画について、発表がありました。

地域の高齢化などが進み、多様な交流が求められる中で、ガーデンモール清和台は地域のちょうど中心に位置して利便性がよいため、ガーデンモール清和台と連携して地域の交流拠点にしたいという説明がありました。

今後の展開としては、地域で活躍している趣味サークルなどが発表できる場、子育て中の親子が交流できる場、自治会などが活動できる自治機能の場などを検討していきたいという話がありました。

### ガーデンモール清和台とは?

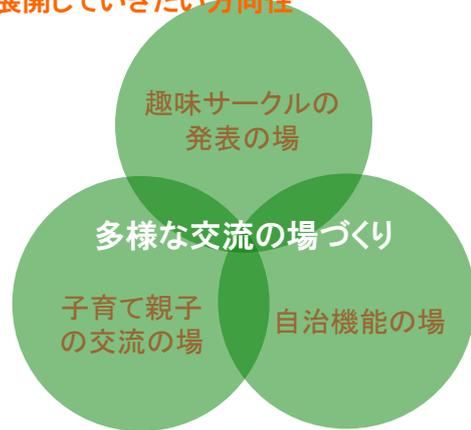
ガーデンモール清和台は、清和台・清和台南小地域のちょうど中心に位置している。



【住所】  
川西市清和台東3丁目1番8  
【営業時間】  
阪急オアシス:9:00~21:00  
専門店:9:00~22:30  
飲食店:9:00~21:00  
駐車場:7:00~24:00



### 今後展開していきたい方向性



## ■発表:代表地域からの活動案紹介2『牧の台ニコニコプロジェクト』



牧の台小地域の谷野さん、浦井さんから、地域で気軽にあいさつ運動をする「牧の台ニコニコプロジェクト」の企画について、発表がありました。

地域の関係を築く上で、あいさつ運動は非常に重要であるものの、若いお母さんたちにとって蛍光ジャンパーなどには抵抗があるということです。

そこで、全く新しいアイテムとしてバンダナを身につけて実際にあいさつ運動を実施してみた模様なども紹介しながら、出てきた課題などについても話していただきました。最後に、カフェに参加した大学生が、まちづくり集団を結成したことを報告しました。

### “牧の台ニコニコプロジェクト”概要

【主催】 牧の台コミュニティ推進協議会

【内容】 地域夢・未来カフェメンバーなどが中心に  
結成されたあいさつ運動のキャラバン隊

【場所】 平木谷池公園前(大和東1丁目交差点前)

【日時】 とりあえず月1回ぐらい(晴れた日)

【特徴】 元気で気軽にあいさつする

### 実際の模様(活動風景)



## ■山崎亮さんから代表地域への講評

山崎亮さんから2地域の活動案に対して講評がありました。清和台・清和台南小地域の発表については、商業施設は売り手と買い手の関係だけでなく、今後さらに周辺地域などの交流も視野に入れた「三方よし」の発想が重要になるということ、一方、牧の台小地域の発表については、あいさつ運動は防犯や防災など、地域にとって非常に相乗効果が高い取組であるという話をしていただきました。



## ■トークセッション「ひとがつながる私のアイデア」

休憩をはさんで後半は、山崎亮さんと地域夢・未来カフェに参加された市民18名によるトークセッションが行われました。地域団体の代表者をはじめ、NPO代表や大学生など様々な立場の方に登壇いただきました。

まずは登壇者に対して〇×アンケートを8問行いました。「地域夢・未来カフェは面白かった」や「14地域で、自分の地域が一番素晴らしいと思う」などの質問では×の回答もあり、本音が飛び出しました。

次に「ひとがつながる私のアイデア」というテーマで、18名の市民がそれぞれのアイデアを出し合いました。「参加する勇気で開ける未来」として、若い世代やサークル団体など様々な主体が参加できる地域にしたいとの意見がありました。「コミュニケーションカフェの開催」など、カフェのような居場所づくりによる交流を望む傾向もうかがえました。NPOの代表からは、1歳未満の赤ちゃんが小学生や高齢者などとふれあい、情操教育や生きがいづくりなどにつなげる「赤ちゃん先生」という独創的な活動をされている報告もありました。

## □参加者が出したアイデア一覧

<p><b>楽しいこと 面白いこと</b></p> <p>清和台・清和台南小学校区 澤田 依利彦</p>	<p><b>コミュニケーション カフェの開催</b></p> <p>東谷小学校区 曾野 秀平</p>	<p><b>忘れないでおいこ 感謝する気持ち</b></p> <p>久代小学校区 島田 絹代</p>	<p><b>出かけてみようかな、 私も！</b></p> <p>けやき坂小学校区 築瀬 繁子</p>
<p><b>街中で ハイタッチ挨拶運動</b></p> <p>多田東小学校区 佃 義廣</p>	<p><b>行政主導から市民 賛同へのDF探し</b></p> <p>桜が丘小学校区 酒井 裕允</p>	<p><b>参加する勇気で 開ける未来</b></p> <p>緑台・陽明小学校区 岡本 一夫</p>	<p><b>まず安心・楽しさ 次にこども・健康</b></p> <p>明峰小学校区 植杉 軍市</p>
<p><b>気軽に集える 憩いの場所</b></p> <p>北陵小学校区 加門 文男</p>	<p><b>ひとがつながる 私のアイデア</b></p>		<p><b>学生チームが 学生活動を支援</b></p> <p>大学生 嶋崎 迅</p>
<p><b>まちのたまり場cafe</b></p> <p>大学生 三木 優子</p>	<p><b>ゆっくり考えます</b></p> <p>川西小学校区 石田 英男</p>	<p><b>世代間交流</b></p> <p>加茂小学校区 大田 博子</p>	<p><b>みんなに支えられて 今がある</b></p> <p>川西北小学校区 細川 武</p>
<p><b>ママカフェ</b></p> <p>牧の台小学校区 濱川 綾</p>	<p><b>赤ちゃん先生</b></p> <p>働くママの子育てサークルin川西 山本 としえ</p>	<p><b>コミュニティカフェ &amp;ダイニング</b></p> <p>NPO法人福祉市民ネット・川西 森 まり</p>	<p><b>歴史を活かす</b></p> <p>多田小学校区 谷 勤四郎</p>



### ■市長からひとこと

最後に市長から、今日のフォーラムの感想と今後の地域分権制度創設に向けた思いなどの話がありました。

今後、ますます高齢化し人口が減少する成熟社会の中で、持続可能な社会を築くためには、人と人がつながる社会が求められており、地域分権制度はつながりをつくるしくみとして重要な制度であるという話をされました。

また、今回のフォーラムで、市民の皆さんの声を聞いて、大変力強さを感じたという感想も最後に述べられました。

